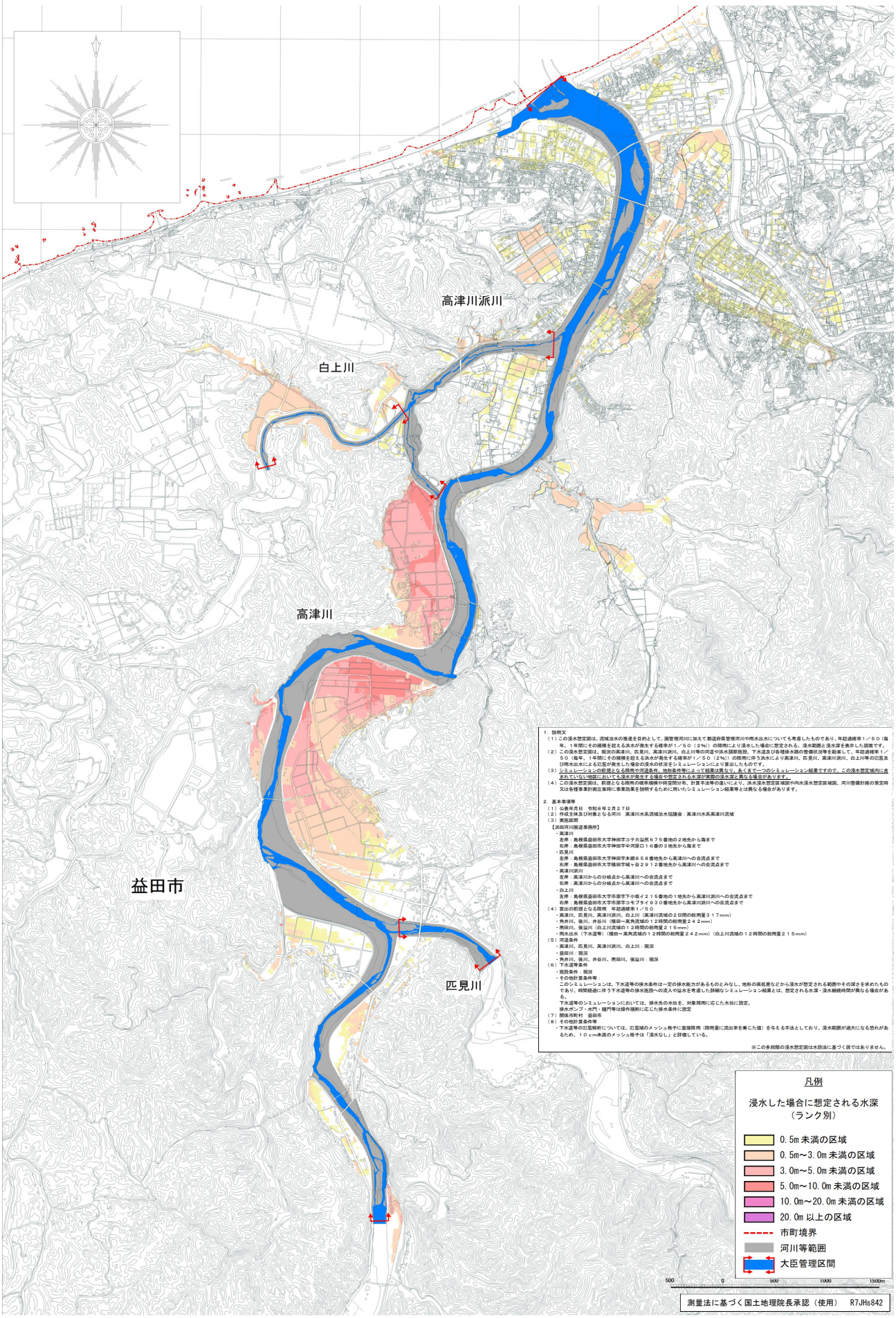
高津川水系　内外水統合の浸水想定図（1/50規模降雨）
【現況河道】



1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水についても考慮したものであり、年超過確率１／５０（毎年、１４間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の河道や浸水頻節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１４間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））の降雨に伴う洪水により高津川、匹見川、高津川派川、白上川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（4）この浸水想定図は、前提となる降雨の規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、浸水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）公表年月日　令和８年２月２７日

（2）作成主体及び対象となる河川　高津川水系流域治水協議会：高津川水系高津川流域

（3）実施区間

【浜田河川国道事務所】

・高津川

左岸：島根県益田市大字神田字コヲカ谷尻６７５番地の２地先から海まで

右岸：島根県益田市大字神田字中河原口１６番の３地先から海まで

・匹見川

左岸：島根県益田市大字神田字本郷８５８番地先から高津川への合流点まで

右岸：島根県益田市大字横田字城ヶ谷２９１２番地先から高津川への合流点まで

・高津川派川

左岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで

右岸：高津川からの分岐点から高津川への合流点まで

・白上川

左岸：島根県益田市大字市原字下小板イ２１５番地の１地先から高津川派川への合流点まで

右岸：島根県益田市大字市原字コモブタイ９３０番地先から高津川派川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０

・高津川、匹見川、高津川派川、白上川（高津川流域の２日間の総雨量３１７mm）

・角井川、後川、井谷川（横田一高角流域の１２時間の総雨量２４２mm）

・南田川、後溢川（白上川流域の１２時間の総雨量２１５mm）

・雨水出水（下水道等）（横田一高角流域の１２時間の総雨量２４２mm）（白上川流域の１２時間の総雨量２１５mm）

（5）河道条件

・高津川、匹見川、高津川派川、白上川：現況

・益田川：現況

・角井川、後川、井谷川、南田川、後溢川：現況

（6）下水道等条件

・施設条件：現況

・その他計算条件等：

このシミュレーションは、下水道等の排水条件は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。

下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。

排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件に設定

（7）関係市町村　益田市

（8）その他計算条件等

・下水道等の氾監解析については、氾監域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大になる恐れがあるため、１０ｃｍ未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。